



## 発生動向等サーベイランス情報

### 手足口病が県内で流行中

～子どもを中心に夏に流行する感染症～



口の中、手のひら、足の裏や甲などに2～3mmの水ぶくれを伴う発疹が出ます。通常は3～7日間で症状は治まりますが、まれに髄膜炎などの合併症を引き起こします。

★飛沫感染、接触感染で広がる



★感染対策

- ・タオル・ハンカチを共用しない
- ・流水・石鹸による手洗い（アルコール消毒は効きにくい）
- ・排泄物の適切な処理（症状が消えても1ヶ月は便の中にウイルスが排出される） おむつ交換の際はご注意ください！

定点当たり報告数  
トップ5（R6.6.26現在）

1	手足口病
2	新型コロナウイルス感染症
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
4	感染性胃腸炎
5	RSウイルス感染症



(手足口病とは)

## 感染対策のポイント

### シリーズ1：手指衛生方法の選択



手指衛生の基本はアルコール消毒となりますが、いくつかの病原微生物はアルコールで死滅しにくいいため、石けんを用いた手洗いを選択する必要があります。上記の手足口病の原因となるウイルスもその一つですので、家庭内で手足口病が発生した際には、石けんでの手洗いが重要になります。

### 感染症専門家からのアドバイス



手足口病は主にこどもの感染症ですが、感染したお子さんからうつることで、成人が発症するケースも見られます。手・足・口と、広範囲に病変（皮疹）が出現しますが、痛みが強く出る方もいて、痛みのために食べにくくなったり、歩きにくくなったりすることもあります。家庭内でお子さんが感染した場合には、可能な範囲でご自身の感染を防ぐことをお勧めします。